

■■ 令和元年8月18日(日) ■■

～第三分区防災訓練20周年。避難所運営を学ぶ～

第三分区は、8月18日、栄東小学校で防災訓練を開催しました。これは毎年実施しているもので、今回が訓練を開始してから実に第20回目にあたり、分区内の町内会員、東消防団栄分団、ひのまる少年消防クラブなど約200名が参加しました。

会場となった栄東小学校が、昨年、避難所になったことから、その運営をどうするかを基本にDVDで厳寒期の地震の怖さを学ぶとともに、避難所の間仕切りや段ボールベッドの作成、実際の避難所のスペースを体験したほか、AEDの取り扱い、簡易担架訓練などのほか、実際に避難所にある備蓄物資について説明を受けました。

東区内でも、栄東地区は取り分け防災意識が高く、分区ごとの訓練を実施しています。こうした積み重ねが継続され、自助、共助による安全安心なまちづくりをより一層確かなものにしていくことでしょ



■■ 令和元年9月1日(日) ■■

～継続が防災力に。第四分区防災訓練を実施～

第四分区は、「防災の日」に当たる9月1日、道営栄町団地の広場と集会所で防災訓練を実施しました。訓練は5つの町内会と東消防団栄分団の合計85名が参加しました。

参加者は2組に分かれ、広場では防災資器材や消火栓の使い方を、団地の集会所ではAEDや心臓マッサージの訓練を行いました。東消防署栄出張所の消防署員から「大災害のときは、消防車の到着に時間がかかり、地域の皆様に対応していただければならないことがあります。防災資器材にはそれぞれ使い方があり、しっかり学んで一人ひとりが対応できるように身に付けていただきたい」との話があり、災害で消防車が来られない場合に備えて緊急時の消火栓の開け方も学びました。

災害時の対応を繰り返し学び自然に身に付け、昨年9月の北海道胆振東部地震のような災害時に無理なく、迅速に行動できるようにしていきたいものです。こうした第四分区の皆さんの取り組みは、確実に地域の大きな防災力として結実してくれることでしょ



■■ 令和元年9月10日（火） ■■

～清々しい青空のさとらんどを散策。9月の健康ウォーク～



9月の健康ウォーク歩こう運動（栄東連合町内会女性部主催）は、「農業体験交流施設サッポロさとらんど」を訪ねました。

前日からの残暑の厳しさからか、9月10日、日の丸会館前に集合した参加者は23名と若干少なめでした。栄町の交通広場からバスに乗ってさとらんど向かい、札幌ドーム14個分(74.3ha)の広大な敷地に広がる花畑や農園、芝生の公園などを散策。台風が過ぎて360°のどこまでも澄み切った青空に囲まれ、すがすがしい風を全身に浴びてきました。

お昼はバーベキューができる炊事場で昼食をとりましたが、700円のジンギスカンの焼肉ランチはボリューム感もあり、皆さんに好評で、地元のさとほろのイチゴソフトも堪能しながら、様々な話題に花が咲きました。最近は、栄東地区以外からの参加者も出てきており、今年29年目を迎えた女性部伝統のウォーク運動が広がりを見せてきたと言えます。



次回は10月24日（木曜日）に開催し、訪問先は「北海道大学」です。黄金色に染まる350mのイチヨウ並木路を散策します。申し込みは不要ですので、参加希望の方は、当日、午前9時に日の丸会館前にお集まりください。

■■ 令和元年9月12日（木） ■■

～地域の安全を守る。栄東交番連絡協議会～

9月12日、栄東まちづくりセンター情報サロンで栄東交番連絡協議会が開催されました。この協議会は、栄東交番と連合町内会の役員など11名で構成。栄東交番からは、管内の犯罪動向や東区の交通事故の説明があり、地域安全に関する質疑などを行いました。

管内の刑法犯の発生状況は、1月から8月までで83件（前年比16減）、そのうち自転車盗16件、侵入盗11件、その他窃盗27件など盗難事件が54件を占めています。このほか、器物損壊11件、傷害・暴行7件、詐欺4件などが続いています。また、特殊詐欺の手口が巧妙化していること、NHKの番組制作アンケートと称して財産の有無や一人暮らしなどの情報を引き出すアポ電強盗の前兆もあることから注意が必要とのお話がありました。

安全安心な暮らしを実現することは、連合町内会の重要な役割です。今後も栄東交番と連携しながら、青色回転灯、パトロールや市民まもろ一隊など地域の皆様と一体となって各種防犯活動を進めてまいります。なお、10月15日には東警察署と合同で地域のパトロールを行い、盗難を防止するための自転車診断も実施する予定です。

